

# 神奈川県内初！ 特定機能病院以外では全国初！ センター病院が病院機能評価「一般病院3」に認定

横浜市立大学附属市民総合医療センター（以下、センター病院）は、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価<sup>※1</sup>において、特定機能病院<sup>※2</sup>以外の病院としては全国で初めて機能種別「一般病院3<sup>※3</sup>」の認定を受けました（令和2年1月6日付）。これは、神奈川県内の病院としても初の認定となります。

病院機能評価における「一般病院3」は、特定機能病院や大学病院本院のような高度な医療を提供する病院を評価するため、平成30年4月から新たに適用が開始された機能種別で、その認定を受けるためには高いレベルで患者の視点に立った良質な医療を実践している病院であることが求められます。

センター病院は、89の評価項目による厳しい基準を全てクリアし、特に「救急医療」、「手術・麻酔」、「重症患者の管理」、「臨床検査」においては最高のS評価を受けています。



## ※1 病院機能評価

病院機能評価は、病院の医療機能を中立的・科学的・専門的な見地から評価し、その改善活動を支援する第三者機関である日本医療機能評価機構によって平成9年に開始され、全国の多くの病院が医療の質と安全性の向上のための有効なツールとして活用しています。認定期間は5年です。

## ※2 特定機能病院

高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び高度の医療に関する研修を実施する能力等を備え、厚生労働大臣が承認する病院。平成31年4月1日の時点で大学病院の本院や国立高度専門医療研究センター等、全国86の病院が承認されています。

## ※3 「機能種別 一般病院3」〈3rdG : Ver. 2.0〉

主に特定機能病院を適切に評価するために新設されたもの。ガバナンスの仕組みと実践、高度な医療の提供、高度な医療技術の開発・評価、高度な医療に関する研修・人材育成、医療安全の確保、医療関連感染制御といった観点に基づき、4つの領域、89の評価項目についてS、A、B、Cの4段階で評価したうえで、患者の視点に立った良質な医療が実践されていることを総合的に評価し認定の可否を決定します。

令和2年1月6日現在、センター病院を含め全国で11病院（6か月の条件付き認定を除く）が認定を受けています。